

# 各市町村社会教育委員の 活動報告



令和6年度岡山県社会教育委員連絡協議会  
研修会より

岡山県社会教育委員連絡協議会

令和7年3月

# 目次

1. 社会教育委員の役割	1
2. 参考になる文献・リンク	3
3. 第46回中国・四国地区社会教育研究大会徳島大会・第47回 中国・四国地区社会教育研究大会山口大会について	4
4. 各市町村社会教育委員の活動報告	
① 岡山市	5
② 倉敷市	6
③ 津山市	7
④ 玉野市	8
⑤ 笠岡市	9
⑥ 井原市	10
⑦ 総社市	11
⑧ 高梁市	12
⑨ 新見市	13
⑩ 備前市	14
⑪ 瀬戸内市	15
⑫ 赤磐市	16
⑬ 真庭市	17
⑭ 美作市	19
⑮ 浅口市	20
⑯ 和気町	21
⑰ 早島町	22
⑱ 里庄町	23
⑲ 矢掛町	24
⑳ 新庄村	25
㉑ 鏡野町	26
㉒ 勝央町	27
㉓ 奈義町	28
㉔ 西粟倉村	29
㉕ 久米南町	31
㉖ 美咲町	32
㉗ 吉備中央町	33

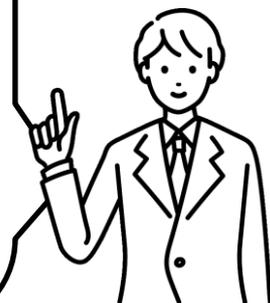
※本報告は、各市町村における「活動成果報告書」を基に作成しておりますが、体裁の都合上、一部編集を行っております。

# 1. 社会教育委員の役割

## その1 自分のまちの社会教育の実情を知り、社会教育に関する諸計画を立案すること

自分のまちの社会教育の現状について積極的に把握します。そして、地域住民と行政の間に立って、住民の声を行政に反映させるための提案をします。

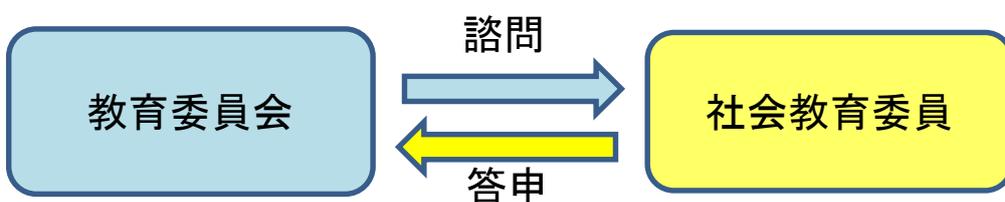
なお、社会教育委員は個人として任命される(独任制)ので、会議を通じて意見を述べることに他に、一人一人が独立した立場で職務や活動を行うことができます。



## その2 社会教育委員の会議としての職務① 教育委員会への答申・意見を述べること

教育委員会で扱われる社会教育事案のうち、協議が必要であると判断するものについては、社会教育委員の会議に対して教育委員会が諮問を行います。

それに対して、社会教育委員の会議が開かれ、委員の意見を集約する形でまとめ、「答申」という形で意見を述べます。



### その3 社会教育委員の会議としての職務② 必要に応じて研究調査や視察を行うこと

1ページの職務を行うために必要な研究調査や視察等を行うことができます。

研究調査によって得られたデータをもとに課題を洗い出し、その解決方法を探り、意見としてまとめていくことで、より実態を踏まえた提案につながります。

〔研究調査の例〕

- ・さまざまな機関・団体が行う社会教育事業の視察
- ・先進的な取組を行っている社会教育施設等の視察
- ・社会教育に関する地域住民の意識調査 など



### その4 青少年教育に関する助言や指導を行うこと

市町村教育委員会から委嘱を受けた青少年の体験活動における指導、青少年への指導法の研修などを行うことが可能です。

社会教育委員が、自然体験活動、地域活動、ボランティア活動等における指導者やボランティアをコーディネートしたり、行政と地域住民をつないだりすることで、青少年の体験活動を充実させることができます。



## 【社会教育法】第17条（社会教育委員の職務）

- 1 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。
  - 1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
  - 2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
  - 3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

## 【参考資料・参考文献】

- ・「改訂版 社会教育委員のためのQ&A —関係法規から読み解く—」  
（一般社団法人全国社会教育委員連合）
- ・社会教育委員の手引き〔基礎編〕  
（平成30年3月 鳥取県社会教育委員連絡協議会 鳥取県教育委員会）

## 2. 参考になる文献・リンク

- ・「改訂版 社会教育委員のためのQ&A —関係法規から読み解く—」  
（一般社団法人全国社会教育委員連合）
- ・一般社団法人全国社会教育委員連合ホームページ  
（研修案内・調査研究などの情報が掲載されています。）  
<http://www.shakyoren.or.jp/index.html>
- ・「子どもたちの夢を育む生涯学習の推進方策について(答申)」  
（令和4年6月 岡山県生涯学習審議会及び岡山県社会教育委員の会議）  
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/detail-58073.html>

### 3. 第46回中国・四国地区社会教育研究大会徳島大会報告

令和6年11月28日（木）～29日（金）、第46回中国・四国地区社会教育研究大会徳島大会が開催されました。本大会では「誰もが輝き、活躍できるひとづくり つながりづくり」を研究主題として、中国・四国地区のさまざまな実践について発表や交流が行われました。

第1分科会「学校と地域の連携・協働」では、西粟倉村教育委員会 向原主任と一般社団法人Nestの青木教育コーディネーターが、『地域一体の「やってみん！」～公教育と社会教育の相互作用を目指して～』をテーマに、事例発表を行いました。

西粟倉村では、一般社団法人Nestと委託契約を締結し、子どもたちの「やってみたい！」を子どもたち自身で叶えられるよう環境を整備し、学校教育・社会教育を通じて自尊心や向学心を向上させるための取組を進めています。

教育コーディネーターが教員とともに地域学習の組み立てを行いながら地域資源を学校の授業に活かす土台作りをしており、地域の方の伴走支援を得ながら、子ども達が「やってみたい！」を実現させていることを発表されました。



#### お知らせ

### 第47回中国・四国地区社会教育研究大会山口大会

期 日 令和7年11月20日（木）～21日（金）

会 場 山口県総合保健会館（山口市）



大会スローガン 共に学び合い支え合う「ふく（福）」あふれる社会づくりへ!!

## 4. 各市町村社会教育委員の活動報告

---

# 岡山市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員 数	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	3回
	3名	5名	4名	6名		18名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（生涯学習推進に関する助言）		

## ◇活動のテーマ・重点

○家庭の教育力向上に向けた取組の進め方

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

令和5年4月にこども基本法施行やこども家庭庁が設置されたことや、子どもや保護者を取り巻く環境の変化を踏まえ、また令和5年度～7年度岡山市教育委員会重点取組「やる気につながる好奇心の醸成」の推進にあたり、岡山市で実施している家庭教育支援に関する取組を、より保護者等のニーズに沿った効果的なものとしていくため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 第3回社会教育委員会会議を開催（8月） ※会議の回数は、任期開始からの通算回数
  - 「家庭の教育力向上に向けた取組の進め方」の事業改善について委員から意見聴取
  - 岡山市立図書館の整備に係る計画の策定について委員から意見聴取
  - 令和5年度公民館事業の報告
- 第4回社会教育委員会会議を開催（12月）
  - 「家庭の教育力向上に向けた取組の進め方」について、事業改善の一環で家庭教育啓発リーフレットの見直しを社会教育委員と行い、その他事業改善案について委員から意見聴取
  - 令和7年度岡山市立公民館運営・事業方針（案）について委員から意見聴取
- 第5回社会教育委員会会議を開催（3月）※予定
  - 令和7年度生涯学習関連事業及び社会教育関係団体への補助金交付について説明
  - 家庭の教育力向上に向けた事業改善案について説明

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

毎年4歳と小学5年生を中心に配付している家庭教育啓発リーフレットを、社会教育委員会会議において改善することができた。今後、配付先や活用方法等を拡充していく。

### 〈来年度の方向性〉

社会教育委員会会議で出された意見を活かし、事業改善を図る。

# 倉敷市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	3名	7名	2名	3名		15名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察	◎	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

### ◇活動のテーマ・重点

○倉敷市の社会教育関連事業について理解を深める

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

社会教育関連事業に関し社会教育委員が理解を深めることで、様々な立場から忌憚のない意見・助言をいただき、事業運営・改善に活かすため。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

#### 1 第1回倉敷市社会教育委員会会議の開催（7月）

「倉敷市教育振興基本計画」に基づく、社会教育関連の「主要事業」について、令和5年度の事業報告及び令和6年度の事業計画に対し、意見を述べた。

また、令和6年度社会教育団体への補助金交付について審査を行った。

会議開催後、本市がその保存・活用を検討している国の史跡「楯築遺跡」について、事務局による概要説明を実施した。

#### 2 第2回倉敷市社会教育委員会会議の開催（1月）

「倉敷市教育振興基本計画」に基づく、社会教育関連の「主要事業」について、令和6年度の取組状況に対し、意見を述べた。

会議開催後、老朽化した水島公民館、水島児童館、水島図書館の複合施設化など今後の整備方針を示した、「倉敷市水島地区公共施設再編整備基本計画（案）」について事務局による概要説明を実施した。

### 3 成果と課題・来年度の方向性

引き続き、会議の開催を通じて、市の社会教育施策に対する意見交換や提言を行う。また、今後も、事業や施設の概要説明や現場視察を取り入れながら意見交換の場としたい。

# 津山市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	1名	6名	1名	2名		10名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

○次世代につなげる～今こそ、子ども支援～

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

家庭教育支援が注目されるとともに、令和6年度からコミュニティ・スクールが市内全小・中学校に導入されたことで、地域が果たす役割がより一層重要となっているが、団体や地域において、次世代にどうつなげるかが課題となっていることから、次世代を担う子どもたちの育成に向け、まずは市内で行われている取組について理解を深める必要があるため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

### 1 津山市教育相談センター 鶴山塾の視察（10月）

学校・家庭での悩みを抱える子どもたちや保護者のための教育相談施設であり、家や学校以外で過ごせる「こころの居場所」として機能している鶴山塾を視察

### 2 鶴山中学校「つるやまかふえ」の取組についての研修会の実施（1月）

学校図書室をカフェに見立て、生徒・教職員・保護者・地域間の交流を生み出す取組について、実際に中心メンバーとしてかかわっている社会教育委員を講師として研修を実施

### 3 教育委員と社会教育委員の懇談会の開催（1月）

「子どもたちが安心して学べる場を作るために、地域ができること」をテーマに、委員が日ごろ教育活動にかかわる中で感じていることなどの意見交換を実施

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

- ・市内で行われている取組について理解を深め、それをもとに教育委員と社会教育委員の懇談会で社会教育に対する思いを共有することができた。
- ・社会教育委員が日ごろ行っている取組について、社会教育委員自身が講師となる発表の場を設けた。初めての取組であったが、社会教育委員相互の交流を活性化することができた。

### 〈来年度の方向性〉

- ・教育委員との懇談会を引き続き実施する。テーマについては、社会教育委員の会議で検討する。
- ・社会教育事業の推進に役立てるため、社会教育施設や優れた取組の視察研修を継続して実施する。

# 玉野市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	2名	3名		1名	3名	9名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

○玉野市の社会教育関連事業について理解を深める

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

社会教育の諸計画の立案に向け、本市の社会教育関連事業全体を把握するとともに、その現状について共通理解を図るため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

### 【全体としての活動】

#### 1 会議の開催

玉野市社会教育委員会会議（7月）

玉野市トップアーティスト・アスリート招へい補助事業審査会（7月）

第2回たまのっ子育成支援委員会（おかやま子ども応援事業）（2月）

#### 2 放課後子ども教室の視察

放課後子ども教室（子ども楽級）10楽級（11月）

放課後子ども教室（おさらい会）12小学校（11月～1月）

#### 3 研究大会及び研修会へ参加、情報共有

### 【個人としての活動】

1 芸術文化体験会等へ参加【随時】

2 PTA活動へ参加【 〃 】

3 スポーツ振興に関わる活動へ参加【 〃 】

4 文化振興に関わる活動へ参加【 〃 】

5 人権教育研修会へ参加【 〃 】

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

社会教育委員会会議では、社会教育委員の役割や本市の社会教育関連事業の計画について理解することができた。また、視察を通して事業をより深く理解する機会となった。社会教育委員会会議において、各事業について意見や提言を行うことはできたが、諸計画の立案については、実現には至らなかった。

### 〈来年度の方向性〉

今後も適時、社会教育委員同士が交流する機会を意図的に設けていきたい。会議の開催や視察に加え、研修会や上記の個人としての活動への積極的な参加をしていきたい。

# 笠岡市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者 2名	社会教育関係者 3名	家庭教育関係者 1名	学識経験者 1名	その他 3名	合計 10名	年間会議回数 2回	任期 2年
-----	---------------	---------------	---------------	-------------	-----------	-----------	--------------	----------

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

- 社会教育・生涯学習事業等の企画・立案・助言
- 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

当市では昨年度から小中一貫教育が本格実施となったものの、地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの枠組みが異なるなど、一体的な推進が不十分であるため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 第1回笠岡市社会教育委員会の開催、竹喬美術館（特別展）の視察（7月）
- 2 笠岡市青少年スピーチコンテストに審査員として参画（11月）
- 3 第2回笠岡市社会教育委員会の開催（3月）※予定

当市の社会教育・生涯学習事業の年間計画、実績報告等を社会教育委員会に諮ることで、各事業の改善・見直しや各種団体の連携強化等に取り組んだ。各委員は、成人式や生涯学習フェスティバルなどの各事業の実行委員として参画していることが多いことから、事業の企画運営にも携わっている。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

社会教育委員が実行委員として参画する事業をはじめ、当市の社会教育・生涯学習事業全般に各分野を代表する社会教育委員の意見を反映させることができた。また、社会教育委員が所属する団体の独自事業とも同じ方向性を持つことができた。

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進について、事務局職員が学校運営協議会の熟議に参加したが、笠岡市社会教育委員会としての十分な取組はできなかった。

### 〈来年度の方向性〉

社会教育施設における企画展や地域学校協働活動の視察などフィールドワークを行い、より意見やアイデアが出やすい環境を整えたい。

# 井原市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員 数	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	3回
	1名	6名		7名		14名	任 期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

- 第5次井原市子ども読書活動推進計画策定
- 高校生を中心とした若者のサードプレイスとして新設された「ユースセンターいばら」の視察

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ・今年度、第5次井原市子ども読書活動推進計画を策定するにあたり、アンケートの分析及び策定案の検討及び意見を述べ、今後の指針を作成するため。
- ・新設された「ユースセンターいばら」の活用状況等を視察して状況を把握する必要があるため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- ・アンケート結果を詳細に分析し、現状の把握と5年後を見据えた計画となっているかを審議
- ・放課後や休日の高校生の「ユースセンターいばら」の利用状況や利用方法の説明を受け、活用の実態から高校生の居場所づくりの必要性やひとつづくり推進事業の一環としての事業展開を学習

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

第5次井原市子ども読書活動推進計画が完成した。

「ユースセンターいばら」の視察を行い、利用の実態把握を行った。

今後の読書推進活動を継続して見守ることと「ユースセンターいばら」の継続的支援が課題である。

### 〈来年度の方向性〉

ひとつづくり推進事業へ積極的に関わり、井原市の目指す人材育成の成果を把握する。

# 総社市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者 1名	社会教育関係者 3名	家庭教育関係者 1名	学識経験者 4名	その他	合計 9名	年間会議回数 任期	2回 2年
-----	---------------	---------------	---------------	-------------	-----	----------	--------------	----------

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

◎	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

○生涯学習のまちづくりの推進

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

社会教育委員として各事業の計画や実績は、会議での説明を通じて理解しているが、参加している様々な世代の市民がどういう思いをもっているのか、公民館等の社会教育施設の事業についてより深く知る機会をもつことが社会教育のまちづくりの推進の一役を果たすものと考えため。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 第1回社会教育委員の会議の開催（5月）  
学校部活動の地域移行について、コミュニティスクールの設置について
- 第2回社会教育委員の会議の開催（3月）  
社会教育団体数の推移について、地域学校協働活動の推進について（予定）
- 社会教育関係事業への積極的参加  
生涯学習、社会教育関係事業のイベント等へ参加し、現場の雰囲気や参加者の様子を感じる。  
（そうじゃわくわくフェスティバル、吉備の里ふれあいウォークラリー、総社市二十歳の集い 等）

### 3 成果と課題・来年度の方向性

〈成果と課題〉

社会教育関係事業の現状を把握することで、社会教育の担う一面を感じとることができた。  
実際に肌で感じることで、多様なニーズに対応するための方法について考えることができ、今後の社会教育関係事業の在り方について意識を持つことができた。

〈来年度の方向性〉

昨年度・今年度と同じテーマで取り組んだが、これから社会教育の果たすべき役割を再度とらえ直し、社会教育関係事業がこれからも持続可能な姿をどのように描いていくかを協議していく。

# 高梁市町村社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	2名	3名		4名		9名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案	○	教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

「魅力ある学びの場を通し、人と人がつながるコミュニティの創造  
～公民館による若者を中心とした世代間交流の充実～」

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

人口の減少率が高い高梁市の現状を踏まえ、学校と社会教育の懸け橋になり得る公民館において、将来を担う中学生や高校生など若者が中心となって、様々な世代とのつながりを生み出し、地域住民の学びを充実するために、上記テーマの中心に公民館や教育委員会、学校や地域学校協働活動推進員が取り組むべきこと、また相互に協力する方法を考えた。そして、公民館を核に、若者が地域課題解決や地域づくりに取り組むための方策について調査研究を行うこととした。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

### ○高梁市社会教育委員の会議の開催（10月、2月）

- ・令和5年度にテーマに沿った事例発表のヒアリング等、研究を行って考えた次の点について、意見を述べた。
- ・研究に取り組んで、見えてきたこと、感じたことを意見交換した。
- ・公民館が若者と地域をつなぐ「まちのコーディネーター」としての機能を生かし、若者の「居場所と出番づくり」を推進していくため、社会教育委員として、また、各所属や立場で具体的にどのような活動をしていくかを協議した。
- ・来年度以降、完成した社会教育委員会議報告書をどこに広めていくべきか、どのように活用していくかを検討した。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

昨年度から調査・研究を行い、令和7年3月に「令和5・6年度高梁市社会教育委員会議報告書」を完成予定。今後もこの報告書を活用していくため、要点をまとめた概要版を作成した。この報告書を学校や公民館にどう周知していくか、活用して事業や学校運営にどう活かしていくかが課題である。

### 〈来年度の方向性〉

地域連携担当教職員と地域学校協働活動推進員の合同研修会や公民館長の研修会に報告書を協議テーマとして取り上げるなど周知を行い、中学生や高校生など若者を中心とした世代間交流や地域住民の学びの促進につなげていく。

# 新見市市町村社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	4回
	4名	1名				5名	任期	2年

【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案	教育委員会への答申
◎	調査研究・視察	青少年教育に関する助言・指導
○	その他（二十歳へのメッセージ作成、公民館運営審議会への参加）	

## ◇活動のテーマ・重点

○社会教育委員の活躍の場の創出

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

積極的に活動を行うことで社会教育の推進を図るとともに、社会教育委員の存在をPRするため。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 社会教育委員会の開催（5月、9月、12月、3月）  
市生涯学習事業の説明、社会教育委員の活動について他
- 2 各研修会等への参加 5月：岡山、9月：オンライン、11月：徳島大会
- 3 公民館の視察 主催事業の見学・体験（新見公立大学生による健康教室等）及び館長から公民館活動についての説明を受け、現状を把握した。



← 公民館視察  
→ メッセージ



- 4 二十歳へのメッセージ 「二十歳の集い」の際に、社会教育委員からのメッセージを配布した。
- 5 家庭教育の推進 「新見市子ども応援事業運営委員会」に参加した。

### 3 成果と課題・来年度の方向性

#### 〈成果と課題〉

昨年度からの取組である「二十歳の集い」でのメッセージ配付、公民館運営審議会への参画等を行うことで、社会教育委員の活動を市民に示すことができた。

昨年度は委員に1名欠員があったが、今年度新たに委嘱した。これまで委員は教職員OBのみであったが、他分野の人材（神職・新見市文化財保存活用地域計画策定協議会委員）の登用により、幅広い意見聴取ができた。

#### 〈来年度の方向性〉

委員改選の年度に当たり、新たな体制となる。これまでの活動を参考にしながら地道に活動を継続し、新しいアイデアも取り入れながら社会教育の推進を図りたい。

# 備前市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	1名	5名	1名	2名		9名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

### ◇活動のテーマ・重点

○備前市の社会教育活動に参加しよう

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

市内の社会教育事業を把握し、よりよい活動・事業に向けて助言等行うため。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 以下の講座・活動に参加
- ・青少年健全育成大会（11月）
  - ・子育て懇談会（8月）
  - ・人権セミナー（6月～12月・毎月1回）
  - ・人権視察研修（12月）
  - ・備前市中学生だっぴ（8月、11月、12月、3月の計4回）
  - ・備前まなび塾＋土曜日・長期休業講座（6月～2月・年間25回程度）
  - ・備前まなび塾＋体験講座（6月～3月・年間20回程度）
  - ・地域学校協働活動（4月～3月・9本部11学校）
  - ・家庭教育情報紙「ときめきなび」編集会議（4月～3月・年間8回）
  - ・読書祭り（2月）

### 3 成果と課題・来年度の方向性

#### 〈成果と課題〉

各々の専門性を活かし、事業への参加・視察を行うことで、事業内容や目的を理解し、参加者の様子を感じ取ることができた。

#### 〈来年度の方向性〉

各事業の視察を通して気付いた点について、それぞれの事業へフィードバックを行い、より効果的な事業へ改善していく。

# 瀬戸内市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	1回
	2名	6名		1名		9名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

○瀬戸内市の社会教育施策の研究

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

瀬戸内市の社会教育事業を研究し、瀬戸内市の社会教育行政に助言等を行うため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

○瀬戸内市社会教育委員会議（2月：長船町公民館）

### 1 社会教育関係団体への補助金

市教委から補助金を交付している社会教育関係団体について、活動内容等を説明。交付要綱について、市教委側で改正を検討しており、改めて委員会に報告される。



### 2 地域学校協働活動について

市教委から瀬戸内市における地域学校協働活動の現況についての報告があり、委員の多くは市内小中学校の地域学校協働本部に携わっていることから、事例の紹介等、活発に意見交換が行われた。



### 3 学校部活動の地域移行について

市教委から想定スケジュールや方向性についての説明があり、委員からは意見や質問等が出され、活発な意見交換が行われた。

### 4 その他、社会教育関連事業について

上記以外の社会教育関連事業（地域コミュニティセンターの改修、青少年健全育成推進大会、女子野球タウン認定記念講演会）について報告があった。



※会議終了後、移転した長船町公民館を視察

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

それぞれの議題に対し、委員それぞれの経験等を踏まえて前向きな意見や質問がなされた。次年度以降、適切な助言ができるよう研究を進める必要がある。

### 〈来年度の方向性〉

引き続き、市の社会教育行政の現況の把握に努め、研究を進めたい。

# 赤磐市町村社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	3回
			2名	8名		10名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（各種研修への参加、市内公民館訪問研修）		

## ◇活動のテーマ・重点

○社会教育事業の見直し、活性化を図る

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

実施している社会教育事業のうち、マンネリ化しているものや現状に合っていない事業について、改善策や案を提示できるよう、訪問研修や研修会等への参加により現状把握と情報収集を行う。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 第1回社会教育委員の会議の開催（5月）  
事業評価・計画
- 第1回備前地区社会教育委員連絡協議会研修会へ参加（5月）  
講演「社会教育委員の役割・職務と地域学校協働活動」
- 第1回岡山県社会教育委員連絡協議会研修会へ参加（6月）  
講演「社会教育委員がおこなう研究調査の意義」
- 第2回岡山県社会教育委員連絡協議会研修会へ参加（9月）  
講演「社会教育委員としてできる、身近な活動（オンライン開催）」（第2回）
- 中国四国地区社会教育研究大会（徳島大会）（11月）※1日目へ参加
- 第2回社会教育委員の会議の開催（12月）  
市内公民館訪問研修
- 第2回備前地区社会教育委員連絡協議会研修会へ参加（12月）  
講演「南部町社会教育委員の活動紹介」
- 第3回社会教育委員の会議の開催（3月）※予定  
社会教育関係団体 ・新規登録審査、・補助金審査

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

各種研修会への参加や、社会教育の根幹をなす公民館へ訪問研修を行うことで、赤磐市の社会教育活動の推進に向けて現状を把握するとともに委員の資質向上を図ることができた。

### 〈来年度の方向性〉

引き続き、現状把握と情報収集を行い、社会教育事業の見直しや活性化を図る。

# 真庭市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	3回
	2名	1名	2名	6名		11名	任期	4年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案	教育委員会への答申
◎	調査研究・視察	青少年教育に関する助言・指導
○	その他（教育委員との懇談会）	

## ◇活動のテーマ・重点

○未就学児の子育て拠点施設である『つどいの広場』を支援する

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

令和5年度に引き続いて同じテーマで活動することとした。  
 真庭市は、こども・子育て関連施策を最優先で取り組む施策と位置づけ、こども・子育て関連施策を「こどもはぐくみ応援プロジェクト」として取り組んでいる。社会教育委員会議としても、子どもの健やかな成長を保障する環境をどのように整えるか、親や家庭をどのように支援するのかは、喫緊の課題と考え、地域の子育て拠点施設として重要な役割を担っている「つどいの広場」について調査研究することとしたため。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

#### 1 市外つどいの広場視察（9月）

- ・奈義町チャイルドルーム、大型遊具
- ・西粟倉村 Nest



奈義町チャイルドルーム

#### 2 教育委員と社会教育委員の懇談会（2月）

- ・テーマ「あそび」について
- ・『つどいの広場』等の視察について活動報告



#### 《参照》市内つどいの広場視察(5年度)

- ・北房つどいの広場ほくぼうほたるっこ・NPO 法人子育て支援の会サポートあい
- ・つどいの広場久世活き生きサロン・湯原つどいの広場・中和つどいの広場あじさい
- ・勝山つどいの広場やまっこ・八束子育てサロン



北房つどいの広場ほくぼうほたるっこ



NPO法人子育て支援の会サポートあい

### 3 成果と課題・来年度の方向性

#### 〈成果と課題〉

令和5年度から6年度にかけて『つどいの広場』等の施設を市内外約10カ所視察した。

対象者のほとんどが未就学児で、時間帯等によっては、保育園、こども園、小学校及び学童の子供たちが利用する等、地域の事情によって多様性はあったが、子育て拠点施設として重要な役割を担っていた。今後、更に充実していくための意見として「子どもの居場所としての拠点化・多様化」「一時預かりの拡大」「NPO化についての検討」「はぐくみサポーター派遣事業の必要期間の延長」「ファミリーサポート（個人が家で預かる）制度化」などがあつた。このことを、教育委員会に報告して福祉部局に参考意見の提供を行う予定である。

#### 〈来年度の方向性〉

2年間の活動を終えて、新たな活動を開始する年度となる。現時点は、社会教育委員から意見を聞いている段階であり年度当初に決める予定である。

#### 主な意見

- ・未就学児の調査研究を終えたので、今後は就学時の居場所である放課後児童クラブの調査研究を行う。  
地域で受け入れ体制や長期休養中の対応など制度が様々である。
- ・外国人の増加により、外国人の教育及びコミュニケーションができるよう調査研究を行う。  
公民館で日本語講座の推進をする。など
- ・社会教育委員が会議及び研修会に多数参加できるよう検討する。

# 美作市市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	3名	3名	2名	5名	2名	15名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

○地域の特色を生かした学びの支援

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

毎年、子供に表現する楽しさを知ってもらうため作東美術館において、子供の絵画展を開催し、社会教育委員で審査を行っており、引き続き当市の特色ある美術館を活用して子どもたちの学びの支援に資するため。また、当市の生涯学習については、各公民館での事業がそれぞれ活発に開催されているが、社会教育委員として次年度に向け新たな講座開催の提案を行いたいと考えている。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

#### 1 子ども絵画展における審査（10月）

美作市では毎年「バレンタイン子ども絵画展」として、作東美術館に市内小中学生から応募のあった絵画を全点展示している。応募作品151点の審査を社会教育委員で行い、子どもたちの伸びやかな表現を応援した。

展示の様子



#### 2 公民館で開催される講座への提案（10月）

市内の公民館（作東、大原、勝田、英田）にはそれぞれ公民館長を配置しており、各館での講座開催が活発になってきている。社会教育委員から令和7年度に向けて開催を要望する講座の提案を社会教育課に行った。

### 3 成果と課題・来年度の方向性

#### 〈成果と課題〉

子ども絵画展では、子どもたちに表現の楽しさを学んでもらえた。その他の社会教育事業については、講座の開催要望など委員としての働きかけを少しずつ行っている。

#### 〈来年度の方向性〉

委員改選の年となるため、委員の入れ替わりが想定される。委員が継続して社会教育事業への関りを強めていく必要があるため、新たな委員選出時には社会教育委員の役割などについて、委員以外の関係者も対象とした研修会を予定している。

# 浅口市社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	2名	6名	4名	3名		15名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

○地域学校協働活動における社会教育委員としての役割

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

地域と学校の協働による課題解決の取り組みが進んでおり、社会教育委員に期待される役割を模索しているため。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

#### 1 第1回社会教育委員会議の開催（8月）

浅口市立鴨方図書館で開催し、社会教育関連の年間事業計画について意見交換を行った。また、会議後、令和5年度から実施していた同図書館の空調設備改修工事の完了報告と、夏休みイベントや子ども向け展示の視察を行った。

#### 2 「夏GAKUサプリ」、「冬GAKUミニサプリ」の視察（随時）

「夏GAKUサプリ」は7月23日～7月26日の4日間、「冬GAKUミニサプリ」は12月25日～26日の2日間、学校と公民館、地域が協働で小学生の学習支援を行う事業であり、市内3公民館で実施している。参加児童の各教室での様子や指導補助ボランティアである中・高校生の活躍、多くの地域ボランティアの参画について視察し、学校や公民館、地域の関わり方について考えるきっかけとなった。

#### 3 第2回社会教育委員会議（3月）※予定

本年度の事業実績や次年度の計画等を協議する会議を、浅口市ふれあい交流館「サンパレア」で予定している。会議の終了後は、寄島地区の社会教育関連事業の視察を行う予定である。

### 3 成果と課題・来年度の方向性

#### 〈成果と課題〉

「夏GAKUサプリ」や「冬GAKUミニサプリ」を視察することにより、公民館における子どもと地域の方々との関わりや異年齢交流に触れ、学校と公民館、地域への関わり方を考えるきっかけとなった。

地域学校協働活動に関して、社会教育委員が学校現場を訪問する機会が少ないため、事業への関わり方を模索していく必要がある。

#### 〈来年度の方向性〉

公民館活動や学校支援事業、地域活動へ積極的に参加し、引き続き社会教育委員としての関わり方を模索していく。

# 和気町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	任期
	1名	6名	1名	2名	4名	14名	1回	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

- 地域や世代を超えた住民間の交流を促す社会教育事業の創出
- 社会教育施設の利用促進とさらなる利活用

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

新型コロナウイルス感染症の蔓延以降、町民の社会教育活動、保健体育活動への参加意欲は大きく減衰した。感染症の終息後、減衰した参加意欲は回復傾向に転じてきたことを機に、現在の町民のニーズに合わせた事業実施、施設利用法を検討するため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

### 1 第1回和気町社会教育委員会の開催（3月）

令和6年度の社会教育事業、保健体育事業等の進捗状況、実績等の確認

令和7年度の社会教育事業、保健体育事業等の計画、予算等を説明

建設中の体育施設（佐伯グラウンド）等を視察し、町内の社会教育関係事業の実態把握を行った

- ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和5年度まで開催できていなかった社会教育委員会会議、事業視察を再開。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

新型コロナウイルス感染症の影響で令和5年度まで開催を見合わせていた社会教育委員会を今年度から再開したが、社会教育事業、保健体育事業等の現状について事務局が一方的に説明しただけの状態である。今後は委員で意見交換したり、町の社会教育政策に対して助言する機会を増やし、翌年度以降の事業展開に生かしていくサイクルに戻す必要がある。

### 〈次年度の方向性〉

事業概要の説明を聞くだけでなく、令和8年度以降の事業予算編成等について意見や助言を行えるよう、各種事業の視察や実態把握をさらに進めたい。

# 早島町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員 数	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	2名	4名	4名			10名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（社会教育委員会の開催と町主要行事への助言）		

## ◇活動のテーマ・重点

○町の主要行事や学校部活動の地域移行等の重点施策について協議研究を行う

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

早島町の社会教育については、限られたマンパワーを活用しながら、これまでの業務の見直しや効率化の必要性に迫られている。施設管理の一元化、学校部活動の地域移行のほか、町の2大事業である夏まつりと町民運動会の意義を鮮明にし、今後の方針について試行錯誤しながら協議・研究し、事業の形式や他の委員会等に反映させていくため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 備中地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会へ参加（5月）  
副委員長2名、事務局1名が参加した。
- 2 岡山県社会教育委員連絡協議会総会・第1回研修会へ参加（6月）  
副委員長2名、事務局1名が参加した。
- 3 全国社会教育委員連合表彰の受賞  
受賞者 田中良治 委員
- 4 早島町社会教育委員会議の開催（5月、12月）  
町主要行事（備中はやしま夏まつり、早島町町民運動会、生涯学習まつり、花ござピンポン大会、ソフトボール大会、二十歳の集い、マラソン大会）のあり方などについて協議・助言を行った。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

社会教育委員会議での協議内容を主要事業に反映させることができた。  
田中委員の表彰を委員会で共有し、今後の励みとした。

### 〈来年度の方向性〉

歴史ある数々の事業について、その方向性と新しい形を引き続き協議する。  
来年度から開始する(株)ファジアーノ岡山スポーツクラブによる指定管理者制度や、検討中の天満屋グループとの包括協定に伴い、施設管理の一元化や学校部活動の地域移行、事業の実施について研究・協議を行う。

# 里庄町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	3名	5名	1名	1名		10名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
○	その他（生涯学習、スポーツ、文化振興等に関する助言・指導）		

## ◇活動のテーマ・重点

- 人権尊重の精神に根ざした、心豊かで自立した人づくり（「里庄町教育大綱」基本理念より）  
 ・生涯学習の振興、芸術・文化の振興、スポーツ振興、交流活動の推進に関する研究・助言

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

少子高齢化、人口減少、災害対策などの課題に取り組み、的確に対応する自立した地域づくりを目指して、教育、文化、スポーツ活動等通じ地域課題の解決及び地域の活性化を推進し、これからの社会を支え、発展させていく人材を育成するため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 第1回社会教育委員会議（書面開催）  
令和5年度の社会教育関連事業、令和6年度の実施予定事業について意見聴取
- 第2回社会教育委員会議（3月）※予定  
令和6年度中に実施された社会教育関連事業について報告

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

県等が主催の研修会に参加し、社会教育委員として期待される役割を理解するとともに、他市町村の委員や社会教育関係者と情報交換を行い、地域づくりや地域学校協働活動などに関する社会教育の役割について理解を深めた。

### 〈来年度の方向性〉

社会教育委員会議において、町の社会教育施策に対して意見交換や提言を行う。  
 社会教育関連事業や施設の視察などを取り入れながら、地域の課題把握や情報共有、委員同士の交流や意見交換の機会充実を図る。

# 矢掛町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	5回
		4名	1名	2名		7名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
◎	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

- 社会教育の活動現場・研修等への積極的な参加
- 令和6年度教育行政重点施策（生涯学習・文化財・健康スポーツ）の事業評価

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

多岐に渡る社会教育分野において、委員自身が受け身の態勢ではなく、自ら活動現場を訪れ、見聞きすることで活動の熱量や空気感を感じ、そこで得た情報から課題を抽出し事業評価に繋げることで、次年度に向けてブラッシュアップを図っていく。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 NPO法人やかげスポーツクラブ・中川公民館の視察（7月）※視察は平成29年度から継続して実施部活動地域移行に関する情報交換・持続可能な公民館活動に向けた意見交換
- 2 矢掛町の社会教育活動・研修会へ参加（個人参加の場合あり）
  - ・やかげ未来まちづくりフォーラム
  - ・二十歳のつどい・やかげ音楽祭・教育講演会・毎戸遺跡シンポジウム
  - ・夏休み学習会・やかげ本陣文学賞・本陣マラソン
  - ・第46回中国・四国地区社会教育研究大会徳島大会 等
- 3 教育委員との懇談会の開催（1月）
- 4 令和6年度教育行政重点施策（生涯学習・文化財・健康スポーツ）の事業評価（3月）



### 〔個人の特徴ある活動〕

当市の社会教育委員は、様々な立場で積極的に活動している人材（放課後児童クラブ支援員・地域学校協働活動推進員・人権擁護委員・日本語教室・民生児童委員・音楽教室講師・講座関係者・地域ボランティア等）を委嘱しており、各委員は地域の状況に精通しているとともに、自らも社会教育活動を行っている。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

委員自身が社会教育に携わる方が多いことから、それぞれの意識が高く、研修会や社会教育関係の行事に積極的に参加している。現場を見ることで委員が熱量を感じ、課題抽出につながっている。

### 〈来年度の方向性〉

引き続き、各種研修会や行事への参加を通じ、意見聴取を行う。

# 新庄村社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員 数	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 関係者	学識経験者	その他	合 計	年間会議回数	2回
	1名	3名			1名	5名	任 期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
○	その他（研修会、事業への参加）		

## ◇活動のテーマ・重点

- 生涯学習（英語学習）の充実
- 公民館事業（図書室）の充実

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

当村では、外国人観光客が増加しており、生涯学習における英語学習が役立つと考えられるため。また、公民館内に併設されている図書館の利用率が低水準で推移していることから、公民館事業を充実させることで図書室利用率の向上を図るため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 社会教育委員会の開催（5月）  
テーマ「生涯学習・公民館事業について」に沿った議論を行った。
- 2 研修会等へ参加  
岡山県社会教育委員連絡協議会第1、2回研修会、ひとづくりまちづくり研修会

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

社会教育委員会における英語学習に関する議論により、中学校での英語学習機会（学校教育、社会教育ともに）の拡充などの予算化につながった。

A L Tによる英語教室を開催しているが、利用者が少ないことが課題である。

### 〈来年度の方向性〉

既存事業の継続やニーズに沿った新規事業の立ち上げに向けた検討を行う。

公民館・小中学校図書室の図書館システムについて、国庫補助を活用し導入する。公民館及び小中学校において、図書システム利用の講習会や図書利用の啓発活動を行う。

# 鏡野町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	3回
	2名	3名	1名	3名	5名	14名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（若者の定住及び人と人とのつながりに向けた取り組み）		

## ◇活動のテーマ・重点

○人と人とのつながりを深める社会教育活動

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

人口減少・少子高齢化の深刻化により、人と人とのつながりや家族関係、近隣関係の重要性が再認識されている。このような状況の中、将来にわたって持続的に発展していきける鏡野町を次世代につないでいくため。

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 鏡野町社会教育委員会の開催（6月、7月、10月）
- 若人が「かがみの」の未来を語る会の開催（7月）  
鏡野町出身で高校時代から地方創生を目指し活動を行っている大学生を講師に迎え、若人が「かがみの」の未来を語る会を開催した。町議会、地元の中高生及び鏡野町出身の大学生も参加し、鏡野町の魅力や課題、行政の取り組み、若者からの要望などについて意見交換を行った。
- 二十歳を迎えた方へ手書きメッセージとお守りを届ける取り組み（1月）  
二十歳を迎えられた方々へ、「生まれ育ったふるさと鏡野は、どんな時でも皆さんの心に寄り添い応援している、夢や目標に向かって頑張ってほしい」と手書きのメッセージと手作りのお守りを贈った。
- 働く方々への街頭啓発活動（9月～11月の間、計4回）  
朝の通勤時間帯に合わせ、手作りののぼりを掲げ地元で働く人たちを応援した。

### 3 成果と課題・来年度の方向性

#### 〈成果と課題〉

社会教育委員会開催の前に準備会を行うことで、会議をスムーズに進行できた。

年3回の会議を開催し、活動内容が充実してきた。委員としてそれぞれの活動に参加することで、教育委員としての役割を自覚するようになってきている。

若人が「かがみの」の未来を語る会を開催した後、委員間の話し合いが十分にできていない。

#### 〈来年度の方向性〉

今までの活動を点検し、引き続き取り組むべき活動を見極めたい。

社会教育を取り巻く環境が大きく変化している中、これらに対応した取り組みも検討したい。

# 勝央町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	任期
	1名	5名		2名	7名	15名	3回	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案	教育委員会への答申
○	調査研究・視察	青少年教育に関する助言・指導
○	その他（ワークショップ）	

## ◇活動のテーマ・重点

○住民と行政の協働のまちづくり

### 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

「協働」をキーワードに委員としてやりたいことを考え、実行することを目指すため。  
（令和2年度に、各委員の興味関心がある事や気になっている事を挙げてもらい、「行政と住民のパイプ役」という社会教育委員の役割を踏まえ、テーマを決定している。）

### 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 勝央町社会教育委員会の開催（5月、11月、2月※予定）
  - 社会教育委員の役割、取組みテーマについて協議
  - 令和5年度事業報告、令和6年度事業計画（案）の説明と意見交換
  - 令和6年度事業途中経過報告、令和7年度重点事業の説明と意見交換
  - ワークショップ  
「地域の担い手となる子どもたちを育てるために、私たちが出来ること」
  - これから自分がやりたいことについて意見交換（予定）
- 全国公民館研究集会香川県大会  
兼 中国・四国地区公民館研究集会香川大会へ参加（委員2名、事務局2名）（10月）
- 中国・四国地区社会教育研究大会徳島大会へ参加（委員2名、事務局2名）（11月）
- 人づくりまちづくり研修会①勝央町へ参加（委員8名、事務局2名）（6月）
- 人づくりまちづくり研修会②真庭市へ参加（委員6名、事務局2名）（10月）
- 岡山県社会教育委員連絡協議会第2回研修会へ参加（委員7名、事務局2名）（9月）

### 3 成果と課題・来年度の方向性

#### 〈成果と課題〉

例年実施している事業報告・事業計画（案）の説明時間を短縮し、ワークショップや意見交換の時間を設けたことにより、委員の主体性と参画意識を高めることができた。しかし、各委員が具体的なアクションを起こすまでには至っていない。

#### 〈来年度の方向性〉

行政主導ではなく、各委員が主体性を持ち具体的なアクションを起こせるよう、ワークショップや意見交換の場（時間）を多く設定することで、やりたいこと、できることを引き出し、形にしていくことで、協働によるまちづくりを推進する。

# 奈義町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員 数	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	3回
		9名				9名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
○	その他（研修会への参加、事業の企画・運営協力）		

## ◇活動のテーマ・重点

○委員の専門分野により3つの分会（生涯学習、スポーツ、美術館図書館）を設け、個々のスキルを活かした委員会運営を行う

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

各委員のスキルを活かし、様々な分野で情報提供や体験学習活動を行い、家庭教育支援の取り組みを推進するため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 奈義町社会教育委員会の開催（6月、9月、3月）  
町の文化関係事業、スポーツ関係事業、美術館関係事業、図書館関係事業について協議
- 2 各分会の開催（随時）  
生涯学習、スポーツ、美術館図書館
- 3 青少年健全育成推進の取り組み（7月、11月、3月）  
町の青少年健全育成の取り組みとして、委員が小中学生の登校時の挨拶運動を行った。
- 4 教育委員会が行う事業への協力  
奈義町体力づくり町民運動会など、町の文化スポーツイベントの実行委員として、企画及び当日の運営の協力を行った。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

奈義町社会教育委員会及び分会を開催し、町の事業等について協議や意見交換を行うことが出来た。  
町の実施する事業や、青少年健全育成の取り組みに参加することが出来た。

### 〈来年度の方向性〉

学校支援ボランティア、子育てトークワイワイ（親育ち応援学習プログラム）等への参加、また町内で活動されている団体や個人等について深く知る機会を創出したい。

各分野において活躍されている委員の能力を更に発揮できるような活動を行いたい。

# 西粟倉村社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者 1名	社会教育関係者 2名	家庭教育関係者	学識経験者	その他 2名	合計 5名	年間会議回数 任期	2回 2年
-----	---------------	---------------	---------	-------	-----------	----------	--------------	----------

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案	教育委員会への答申
○	調査研究・視察	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）	

## ◇活動のテーマ・重点

- 村内の情報共有
- 社会教育研究大会へ向けて/情報共有
- 家庭教育支援について

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ・本村では一般社団法人 Nest（以下、Nest）を軸に学校教育と社会教育の両輪で生涯学習を推進している。その Nest の活動内容を把握し、かつ、同時に活発に活動を開始している企業や村の動き等の情報交換を行い、社会教育活動にいかに関活用していくかを考える情報収集を行いたいため。
- ・中国四国地区社会教育研究大会（徳島大会）で発表する事例内容について、事前に共有し意見を反映させるため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 第1回西粟倉村社会教育委員会の開催（10月）  
西粟倉村の新規企業情報や村の動きについての情報共有  
中国四国地区社会教育研究大会（徳島大会）における事例発表内容について共有および助言
- 2 第2回西粟倉村社会教育委員会の開催（12月）  
中国四国地区社会教育研究大会（徳島大会）の情報共有  
家庭教育支援の取組について情報共有、検討委員会へ参画依頼



## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

中国四国地区社会教育研究大会（徳島大会）での発表は、これまで村が取り組んできた学校教育と社会教育について伝える貴重な機会となった。Nest を軸にした取組は他地域からすれば恵まれた環境下であるように思われるが、課題は多く、村の委託事業（受託者）としての社会教育では、いかにすべての子どもたちに社会教育の機会を与えられるか、深められるかという公教育としての動きを求められるが、民間事業者としての社会教育は選択した者にしか提供されないサービスであるという、相反する性質のものを一軸で行っていることになる。受益者にとってみれば区別し辛く、民間事業部分の有料である部分にハードルを感じ、公教育としての社会教育事業への参画へ支障をきたしている。

社会教育委員として Nest を軸に事業展開している状況下でいかに関わっていけるか、またこの状況をどのようにすれば打破できるかということを検討する必要がある。

#### 〈来年度の方向性〉

これまで、社会教育委員は Nest の活動を通じて普段から一村民として社会教育へ関わっていた面が大きかったが、今後は社会教育委員としてどう関わっていけるかを協議する。Nest を軸にした事業展開についても、調査分析を行い方向性について社会教育委員として提言していく。

家庭教育支援チーム設立に向け、今年度立ち上げた検討委員会において熟議を重ねていく。社会教育委員からも2名参画し、多角的な意見を提言する。

# 久米南町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	2回
	1名	7名				8名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
◎	その他（各種事業に参画し活動内容等を検証する）		

## ◇活動のテーマ・重点

- 社会教育委員の役割の理解
- 事業への参画

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

- ・社会教育委員の役割や活動について理解を深める必要があるため。
- ・多世代が共に学び合い、町民の力を活用した社会教育事業を行う必要があるため。
- ・ふるさと久米南を学び、郷土愛を育む必要があるため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 1 久米南町社会教育委員会会議の開催（6月、3月）
- 2 事業の実施

「第8回ウォーキング大会」（12月） — 町スポーツ協会主催 —

弓削 ⇒ 神目 ⇒ 誕生寺 ⇒ 竜山 の町内4地区を年度ごとに巡っている。

今年度は誕生寺地区で実施

町の魅力を歩いて感じるイベント、ウォーキング大会に参加。町スポーツ協会長は社会教育委員として活動している。

目的は、楽しく歩きながら、名所や歴史に触れることができるようにスポーツと文化の融合を図ること。約10kmのコースで目指すのは、誕生寺（国指定重要文化財ほかに指定）。当日は、社会教育委員（文化協会長）と文化財保護委員が詳しい説明を行い、参加者はまちの魅力を発見することができた。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

ウォーキング大会では、保育園や小中学校にもチラシの配付を行い、多くの親子連れの参加があった。地元の方も知らない名所や遺跡などについて、社会教育委員と文化財保護委員が詳しい説明を行うことにより、参加者は知識を深めるとともにまちの魅力を発見することができた。社会教育委員が関わり意見を出すことにより年々充実したイベントとなっている。

### 〈来年度の方向性〉

令和6年からコミュニティセンターが開設されたため、新規事業について協議を行う。

# 美咲町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	3回
	1名	4名		2名	2名	9名	任期	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

	社会教育に関する諸計画の立案	◎	教育委員会への答申
○	調査研究・視察		青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

「美咲町生涯学習推進計画」進捗の内部評価

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

「美咲町生涯学習推進計画」（令和3年度～7年度）のを策定し、本町の生涯学習施策を展開しており、「学校を核とした地域づくり」をはじめ、地域の未来を切り拓く人材の育成を行うことで、持続可能なまちづくりを目指すため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

- 美咲町社会教育委員の会議の開催（6月、9月、3月）  
令和6年度推進方針を確認し、事務事業や施設利用・事業実施状況について内部評価を行った。
- 複合化施設や子どもの居場所づくり等へ対する助言（5月、10月、2月）  
中央地域・旭地域では、庁舎移転のほか公民館・図書館・社会福祉協議会・診療室などを複合化した「美咲町多世代交流拠点」（中央地区：「みさキラリ」、旭地区：「あさひなた」）の整備について助言した。  
柵原地域では、学校施設内のふれあい交流ホールのほか、放課後子ども教室（寺子屋）・児童館が連携した子どもの居場所づくりの確立へ向けて助言した。
- 中山間地域のPR（12月）  
岡山県主催の「さとまちフェスタ」に美咲町（北和気地区・南和気地区）も参加し、郷土商品や体験コーナーを出店することで中山間地域のPRに貢献した。
- その他  
岡山県社会教育委員連絡協議会研修会へ積極的に参加した。  
町内で実施される各種事業の委員に社会教育委員も参画し、意見交換・提言を行った。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

県の研修会に積極的に参加し、社会教育の果たすべき役割を理解することができた。

### 〈来年度の方向性〉

引き続き、社会教育委員の会議を開催し、町の社会教育施策について意見交換・提言を行う。  
また、新しく整備された生涯学習施設の説明や視察を活動に取り入れる。

# 吉備中央町社会教育委員の会議

## 【基本情報】

委員数	学校教育関係者	社会教育関係者	家庭教育関係者	学識経験者	その他	合計	年間会議回数	任期
	1名	4名	2名	1名		8名	1回	2年

## 【社会教育委員として行った活動】（あてはまる項目で重点的な活動に◎、その他行った活動に○を記入）

○	社会教育に関する諸計画の立案		教育委員会への答申
○	調査研究・視察	○	青少年教育に関する助言・指導
	その他（ ）		

## ◇活動のテーマ・重点

○当町の家庭教育支援の現状把握と支援の方向性の検討

## 1 上記のテーマ設定の理由（市町村の社会教育の現状・課題等）

都市化や核家族化、地域における住民同士の交流のつながりの希薄化がすすむ中、育児不安やしつけへの自信喪失する家庭、孤立しがちな家庭が増加してきているため。

## 2 活動のテーマ・重点に向けた社会教育委員の活動

### 〔全体としての活動〕

- 第46回全国・中四国公民館研究集会（香川県大会）へ参加（10月）  
公民館運営審議会委員として参加（兼務）
- 岡山県社会教育委員連絡協議会総会・第1回研修会へ参加（6月）
- 備前地区社会教育委員連絡協議会へ参加  
第1回備前地区社会教育委員連絡協議会理事会及び研修会（5月）  
第2回備前地区社会教育委員連絡協議会研修会（12月：鳥取県西伯郡南部町）

### 〔個人としての活動〕

令和4年度に発足した家庭教育支援チームを中心に、「親育ち応援学習プログラム」のファシリテーター養成講座を受講し、親プロファシリテーターとして活動している。各小学校の入学説明会において、スムーズな小学校生活を送るために必要な生活習慣などを身につけさせるため、保護者として大切にしたいポイントについて考えるとともに、保護者同士の交流を深める良い時間となった。

## 3 成果と課題・来年度の方向性

### 〈成果と課題〉

社会教育委員としてだけでなく、他の社会教育関係職を兼務し活動することで、家庭教育支援チームの認知度や信頼度が向上しているように感じている。

親プロの際、保護者同士の交流の時間が、現在の社会教育や家庭教育の現状を把握する場ともなり、来年度の社会教育委員の活動のヒントになった。

学校だけでなく、教育委員会、地域、家庭が一緒になって社会教育を考えるチームとして確立しつつあるため、社会教育委員の領域においても統一的に支援を行えないか、調査研究が必要である。

子育て環境・家庭教育環境を整えるには、家庭教育に関心のある委員の発掘及び育成の必要がある。

### 〈来年度の方向性〉

本町の子育て環境・家庭教育支援の充実のため、家庭教育に関心のある委員の発掘及び現場での研修等を行い、委員のスキルアップを行っていきたい。

